

議会運営委員会会議録（令和6年6月24日）

出席委員 原委員長 青山副委員長 吉森委員 岩城委員 古沢委員 開田委員
尾崎議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

職務のため出席した事務局職員 石井局長 中田局長補佐

午前9時00分開会

【原委員長】 これより議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付したとおりでございます。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。古沢委員、開田委員にお願いいたします。

日程第2 議員提出議案についてを議題といたします。

事務局のほうから説明をお願いいたします。

【石井局長】 議員提出議案は2件です。

1件目が、岩城議員外12名からの提出で、議員提出議案第3号 パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議。提案理由の説明は岩城議員です。

2件目ですけれども、古沢議員外1名からの提出で、議員提出議案第4号 日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書。提案理由の説明は古沢議員です。

以上です。

【原委員長】 今の事務局の説明のとおり、議員提出議案2件については、本日の本会議に提案されることになります。

ただいまの説明につきまして、委員の皆さんのほうから何かご意見、ご質問ありませんでしょうか。

（特になし）

【原委員長】 ないようでございます。

それでは、日程第3 その他に入ります。

まず、決算特別委員会の構成についてであります。

6月3日開催の議会運営委員会で、人数を減らすことに決定しております。具体的な構成・人数については、本日の議会運営委員会で決定することというふうに申合せしており

ました。

各委員のほうから、人数、構成、その他意見をお聞かせ願いたいと思います。

【古沢委員】 この間、この決算特別委員会の定数の話をしておったときに、私らもグループなので、全体として意思統一をしたということではありませんが、くしくもほぼ同じ意見だったんですが、ぜひ決算特別委員については希望者手挙げ方式にしてもらえないだろうかという意見であります。

【原委員長】 ほかの委員の皆さん方から。

【青山副委員長】 志真会は、6か7か半分、6か7かどちらか定数がいいほうで、割れるほうでちょっとやっていただければ助かるかなと思います。

【岩城委員】 私のところは、今の議会運営委員会の構成でどうかなという話でありました。それぞれから推薦する形。

【開田委員】 6人でどうかなと思っています。

【原委員長】 ということは、6人。人数的に……

【開田委員】 だから、半分にすれば6人ということ。

【原委員長】 これ今ちょっと意見が分かれておるんですけども、どんなふうにまとめればいいですかね。

【古沢委員】 定数なら定数を先に決められるなら決めて、それをどういうふうにするかと。

【原委員長】 それでは、皆さんのほうからは意見をいただきましたが、まず定数につきまして、6人から7人も併せて、6人という意見が皆さんのほうから出されました。

これについて、どのように決定していきましょうか。選出は選出で、また別個にしますのでは。

【青山副委員長】 6人でお願いします。

【岩城委員】 6人で取りあえずいいがでないがけ。

【原委員長】 6人で進めさせてもらってよろしいですか。

古沢委員、よろしいですね。

【古沢委員】 まあ、いいですよ。

(異議なし)

【原委員長】 それでは、構成人数につきましては6名ということで決めさせていただきます。

今ほど出ておりました 6 人の決算特別委員の選任というか、決定するときに、どういうふうな形で。今、希望者制というか、そういう意見も出ておりますが。

【岩城委員】 古沢委員が言われましたように、私はそこまでちゃ思っていなかったんですが、まずはやりたいという人を募るというのも一案かなと思ったりもするがやちゃね。別に会派とかそういうがにこだわらずしてね。

かといって、最低でも会派で1人は出てもらわんにゃならんけども、やっぱりそこら辺り、そうかなというような感じはありますね。それも一案かなと思っています。

【原委員長】 ほかに皆様のご意見は。

【岩城委員】 それ、もしそういうふうにするときは、早めにメンバーを選抜せんにやならんが。そうでもないがけ。定数だけやっておけば。

【中田局長補佐】 例えば、一定の日までに希望者を募って、事務局まで報告していただいて、その上で改めて全員協議会とかでもう一回調整するとか、そういった手続が必要になるような気はします。

【岩城委員】 何かあれかな、7月10日、定例議員協議会があるから、それまでにメンバーを募りゃいいがでないがかな。

【尾崎議長】 我々の任期中、来年の11月まで、2回、決算特別委員会が開催されるんですけども、来年も6人で希望者優先という形にするのかですね。

私、委員のときは、確かに6人ずつだったと思っておって、今年やったら来年はほかの人とかという形で、入れ替わり方式だったような気がするものですから、またそういう形に今年からスタートするのであれば、来年までのことも視野に入れた形での人選ということも考えないといけないのではないかなと思います。

【原委員長】 交代制じゃなくても、別にいいがだけど、それも話の中で、

【岩城委員】 さ、あれかしらんけど、2年続けてやってもいいねか。さ、どうしても人数、そういうがになってしまうから。

【古沢委員】 さっき手挙げ方式と、希望者ということを行ったのは、決算委員会に対する認識がかなり違うのではないかと、濃淡があるのではないかとという受け止めだったんです、私。なものですから、それほど希望されない方が委員会に参加されるのであれば、それは委員会にとって、あるいは議会にとってよろしくないことではないかという思いがありまして、そういう話をしておって、じゃ手挙げで希望者というふうにしてもらったらいんじゃないですかという話が私たちのグループの中では出たと、こういうことであります。

す。

【原委員長】 どうですか、ほかの委員の皆さん方。

【青山副委員長】 基本的にここで話し合った構成の中で言うと、いわゆる会派から出て議会運営委員会が成り立っているわけですから、会派の中で割り振った人数で6名を選出すればいいと思っていまして、うちらで言ったら2人かな、を会派内で責任を持って出す。翌年、別にかぶろうが、かぶらなからうが、責任を持って2人出すというような形にしていけばいいのかなというふうに思っております。

【原委員長】 岩城委員、どうですか。

【岩城委員】 まあ、あれかしらんけども、状況でいけば、2・2・1・1になってくるがかな。そういうような形で、致し方ないようなんな。

【原委員長】 今の皆さんの意見だと、やっぱり希望者といっても、各会派から代表で希望者が出てくるということなので、今言う話でいくと、2・2・1・1というような意見が重いのかなというふうな感じがいたします。

古沢委員、どうでしょう。

【古沢委員】 グループの中でそういう話になったので、私とすれば率直に言って不満ですけど、決め方として大勢がそういうことだとなれば、それはそれでやむを得ないかなとは思いますが、その根底にはさっき申し上げたことがあるということなので、もう過ぎたことだからという受け止めは、これは改めていただきたいということは重ねて申し上げておきたいと思います。

【岩城委員】 私とすれば、決算特別委員会はあまり会派とかそういうものにこだわらなくてもいいかなという思いでちょっとさっきは言ってはみたものの、いよいよ決めるとなりや、一つの枠をはめてしまわんにや、なかなか前へ進まんかなというような気はあるので、そういう、先ほど言ったような形のほうがいいような感じがするちゃ。

【原委員長】 その他、ご意見、この件についてありますか。

(特になし)

【原委員長】 そしたら、今ほどたくさん意見が出ましたが、大半が6名で、選び方につきましては、各会派2名、2名、それからその他で1名、1名ということで合計6人と。あわせて、自覚を持った人をきちっと選定していただくということで進めさせてもらってよろしいでしょうか。

(異議なし)

【原委員長】　じゃ、そのように進めさせていただきます。

そしたら、人数と選定される委員は決まるんですが、今後はスケジュール的にはどういうふうに。委員長とか副委員長とかというのは、いつ頃まで、どういうふうにして決めていけばいいがですかね。事務局。

【中田局長補佐】　過去に選抜メンバーでやっておったときのことを確認しましたところ、9月の定例会の前の議会運営委員会が始まるまでに、事務局のほうから各会派に、メンバーを出してくださいということで内々をお願いをいたしますので、既定の期日までに事務局に伝えていただいて、決算特別委員会の委員長についても、基本、順番でやっておりますが、最終的には9月の定例会前の議会運営委員会で決まる形になるという流れになるかと思います。

不明なところがあれば、事務局と議会運営委員会でまた調整していけばいいのかなと思いますので、そのようにお願いいたします。

【原委員長】　ありがとうございました。

そしたら、9月定例会前の議会運営委員会まで委員を選出していただく。その後の正副委員長については、またその後の話ということでよろしいですね。

【古沢委員】　確認なんですけど、決算特別委員会は、9月議会の定例会が始まって指名されることになるので、指名された委員の中で互選をして正副を決めるということになるので、定例会が始まる前までに内定をしておくということですね。

【中田局長補佐】　そのとおりでございます。

【原委員長】　それでは、そのように進めさせていただきます。

よろしいですね。

(異議なし)

【原委員長】　ありがとうございました。

それでは次に、定例会最終日に係る議事の流れについて、事務局から説明をお願いいたします。

【石井局長】　それでは、別紙のほうをご覧ください。6月定例会最終日に係る議事の流れでございます。

本日、最終日ですけれども、日程第1で委員長報告、各常任委員長から委員長報告がございます。委員長報告に対する質疑に入りまして、質疑がなければ質疑を終了いたします。議案第39号から49号までの11議案について討論に入りまして、討論終了後、一括して採決

を行います。採決の際は「ご着席ください」と議長の発言があるまで、ご起立のままでお願いいたします。

日程第2、議員提出議案第3号です。先ほど述べました決議につきまして、提案者から提案理由の説明があります。質疑の後、委員会付託を省略し、討論を行います。討論終了後、採決いたします。

日程第3、議員提出議案第4号です。こちらも先ほど述べました意見書につきまして、提案者から提案理由説明があります。その後、採決までの流れは3号と同様です。

日程第4で議員派遣、日程第5のほうで閉会中の継続審査ということで、議会運営委員長のほうから、閉会中の継続審査の申出を諮り、決定いたします。

最後に市長から閉会の挨拶があり、閉会となります。

以上でございます。

【原委員長】 最終日に係る議事の流れを事務局から説明いただきました。

ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(特になし)

【原委員長】 ないようでございます。

その他で委員の皆さんから何かありますでしょうか。

(特になし)

【原委員長】 事務局のほうから何かありますでしょうか。

【石井局長】 2点、お願いいたします。

1点目ですけれども、姉妹都市のシャンバーグの訪問についてでございます。

先般6月19日水曜日の総務文教消防委員会のほうで、企画政策課長のほうから訪問日程について報告がございました。期間は8月26日月曜日から30日金曜日の5日間の予定で、市長、企画政策課主査1名、通訳1名のほか、市議会のほうから1名の参加依頼がございまして、内規により、議長にお願いしたいと考えております。

2点目です。9月定例会の日程案についてでございます。

こちら、先ほどお配りしました参考の資料をご覧いただきたいと思います。9月定例会の日程案ですけれども、本来は7月10日の議会運営委員会で正式決定されるものでございますが、今ほど言いましたシャンバーグの日程も考慮させていただきまして、ご提案するものでございます。

9月は、今ほど話が出ておりました決算特別委員会もあり、また当局とも調整を図り、

9月2日開催としてはどうかと考えております。

通常であれば、初日9月2日の1週間前開催の議会運営委員会は8月26日の月曜日となるところですが、今ほど言いました、議長がシャンバーグで不在となると、1日前倒しして、8月23日の金曜日でどうかと考えております。

また、定例会初日の3日前開催の定例議員協議会につきましては、こちらはどうしても議長が不在となります。青山副議長に進行をお願いすることでご理解をいただきまして、8月28日水曜日の開催と考えております。

以上でございます。

【原委員長】 ありがとうございます。

今ほど2点、事務局のほうから説明がありましたが、この2点の説明に対しまして、委員の皆さんからご質問があれば。

【古沢委員】 これ、時間は未定、10時け。

【青山副委員長】 書いてありますよ。

【古沢委員】 あ、書いてあった。全部10時ね。失礼しました。

【原委員長】 ほか。

(質疑する者なし)

【原委員長】 じゃ、この2点につきましてはご異議なしということで、そのようにさせていただきまして、9月定例会の日程につきましては、次回の7月10日水曜日の議会運営委員会で正式に決定とさせていただきます。

(異議なし)

【原委員長】 最後に、閉会中の継続審査の申出についてお諮りいたします。

本委員会において閉会中もなお継続して審査を行うため、滑川市議会会議規則第107条の規定により、議長に対して閉会中の継続審査を申し出たいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

【原委員長】 ご異議がないようでございます。では、そのようにさせていただきます。

次回の議会運営委員会は7月10日水曜日午前9時を予定しております。

以上で本日の議会運営委員会を閉会とさせていただきます。

お疲れさまでございました。

午前9時24分閉会

上記は会議の顛末を録し、
その正当なることを証するため
ここに署名する。

委員長 _____

委 員 _____

委 員 _____